

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合高岡支所 森林従業員 石井 義人さん

今回は、富山県西部森林組合の高岡支所でトラックでの原木運搬を主な仕事とする石井義人さんを紹介しします。



石井 義人さん

グラップル付き10トトラックで、原木を山土場から高岡市福岡町にある中間土場や、原木の受け入れ工場へ運搬する事が主な仕事です。

1 トラックでの原木運搬に携わるまで
石井さんは、出身が千葉県で、富山県出身の奥様とのご結婚を機に富山へイターンされました。
「山で鳥のさえずりを聞きながら弁当が食

べたい！」と旧砺波森林組合に森林作業員として就職。10年程働かれましたが蜂アレルギーのため森林作業を一度断念し、バス運転手に転職。しかし、「森林作業が無理でも林業に関わりたい」と3年前に原木運搬のトラック運転手になったそうです。

2 仕事での心がけ

一 トラックへの原木積み込み時は、はい積みされた原木の山が崩れないよう安全第一を心がけてグラップルを操縦しています。

二 運搬重量は、過積載にならないよう樹種や季節による木の重量の違いも考えて作業をしています。

三 道路運転時は、山土場のある場所までは、狭く険しい道が多いので、谷底に落ちないように気を付けています。

3 トラックドライバーコンテスト優勝!

西部森林組合主催の当コンテストに積極的に出場しています。1回目(令和2年)の大会では、積載量の正確さを競い惜しくも2位。2回目(令和3年)の大会でトラックのグラップル操縦技術を競い念願の優勝を果たしました。これは日々の鍛錬の賜物ですね。

4 石井さんへ寄せられる信頼

西部森林組合高岡支所の得永支所長は、「石井さんは、積載量に彼独自の勘を持っており、繊細なグラップル操縦での確な積み込みができる技術がある方。労働安全の意識も高い。」と信頼を寄せています。川上の材を川中へスムーズに流通させるにはトラックによる安全な運搬は欠かせません。希望された林業の現場で優れた技術を活かせるよう今後ますますのご活躍を祈念いたします。

文責 高岡農林振興センター森林整備課 林政・普及班



トラックドライバーコンテストでのグラップル操縦中